

無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究(Δ02)

目 的 風俗慣習、民俗芸能、民俗技術等無形民俗文化財のうち、近年の変容の著しいものを中心に、その実態を把握するために資料収集と現地調査を行う。また、無形民俗文化財研究協議会を実施し、その成果を報告書にまとめる。さらに、これまで東京文化財研究所で収集・保管している無形民俗文化財についての記録・資料の整理を行う。また選定保存技術については、国により選定された技術および未選定の技術について情報を収集し、そのなかで重要なものについては現地調査・記録作成を行う。

- 成 果**
1. 風俗慣習の調査として樹木祭祀や正月儀礼等について、民俗芸能の調査としてシシ系芸能や神楽について、民俗技術の調査として箕の製作技術や鵜飼漁の技術等について、伝承や保護の実態についての現地調査や資料収集を行い、現状把握とともに現地関係者とのネットワークを構築した。
 2. 東日本大震災被災地における民俗芸能、風俗慣習の調査として、浪江町の苅宿鹿舞、宮城県女川町の祭礼及び獅子舞等に関して調査を行い、資料収集・記録保存を行った。また無形文化遺産アーカイブスの開発とデータ収集を行い、「311復興支援 無形文化遺産アーカイブス」に続き、全国版の整備を進めた。
 3. 第11回無形民俗文化財研究協議会を「無形文化遺産と防災一リスクマネジメントと復興サポート」をテーマに東京文化財研究所において開催し、124名の参加を得た。4件の事例報告をもとにコメンテーター2名を含めた総合討議を行った。成果は『第11回無形民俗文化財研究協議会報告書』にまとめた。
 4. 選定保存技術については、未選定の文化財の保存技術の調査として、友禅の下絵に用いる染料である青花紙の製作について滋賀県草津市と共同研究を実施し、現地調査と記録作成を行っている。また選定保存技術については現在選定されている技術と、かつて選定されていた技術の概要を日・英両言語でまとめた『選定保存技術資料集 A Handbook for Selected Conservation Techniques』を刊行した。



獅子神楽調査(北海道)

- 論 文**・久保田裕道：「民俗芸能・祭礼の被災と復興」『東日本大震災 神社・祭り一被災の記録と復興一本編』 pp.184-191 神社新報社 16.7
- 報 告**・Migiwa IMAISHI：「Japanese Shipbuilding Skills and Traditions」, JCH Courier 29, pp.20-21 16.11
・石村智「[資料紹介] 木島正夫による青花紙製作の映像記録」『無形文化遺産研究報告』 11 pp.101-113 17.3
- 発 表**・今石みぎわ：「箕の製作技術と民俗—全国の事例から」国指定重要無形民俗文化財「論田・熊無の藤箕製作技術」周知事業 熊無公民館(富山県氷見市) 16.12.4
- 刊行物**・『選定保存技術資料集 A Handbook for Selected Conservation Techniques』 17.3

研究組織 ○飯島満、久保田裕道、石村智、菊池理予、今石みぎわ(以上、無形文化遺産部)、齊藤裕嗣、菊池健策(以上、客員研究員)、江村知子(文化遺産国際協力センター)、早川典子(保存科学研究センター)